

令和7年度

熊本市エイズ総合対策推進会議

日時 令和7年9月30日（火）
午後2時～4時

場所 熊本市総合保健福祉センター（ウェルパルくまもと）
3階 すこやかホール

資料目次

1) エイズ及び性感染症の発生動向（統計）	1
2) 令和5～9年度 HIV感染および性感染症の予防対策（計画）	6
3) 熊本市エイズ対策事業 令和6年度報告・令和7年度計画	8
4) 受検者アンケート回答まとめ	15

参考資料

○「令和6（2024）年エイズ発生動向エイズ動向委員会報告」より

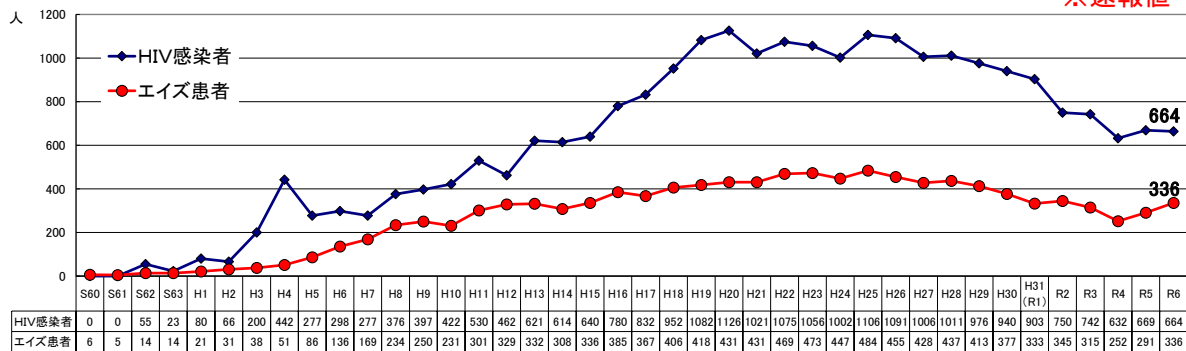
第164回エイズ動向委員会 委員長コメント

○「令和7年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマについて」

■全国のHIV感染者・エイズ患者報告数推移

1. 年次推移(全国)

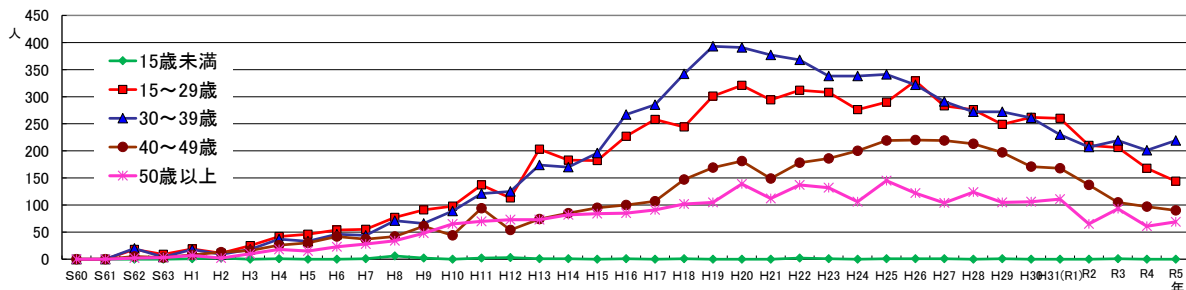
※速報値



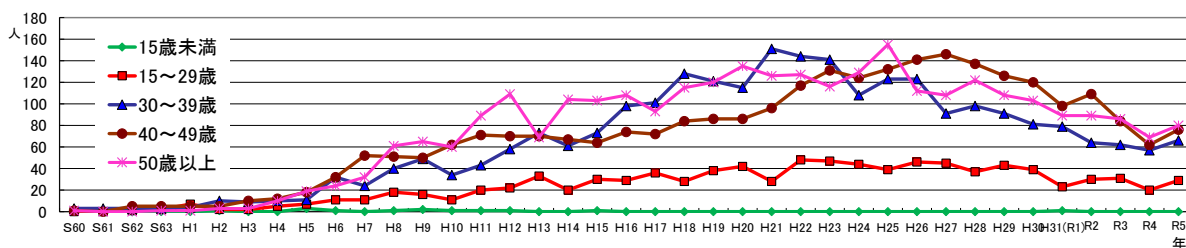
累計(2024年末) 感染者 25,196
 患者 11,185
 感染者患者合計 36,381件

2. 年齢階級別推移(全国) (日本国籍のみ)

①新規HIV感染者数 推移(全国)【日本国籍・年齢階級別】

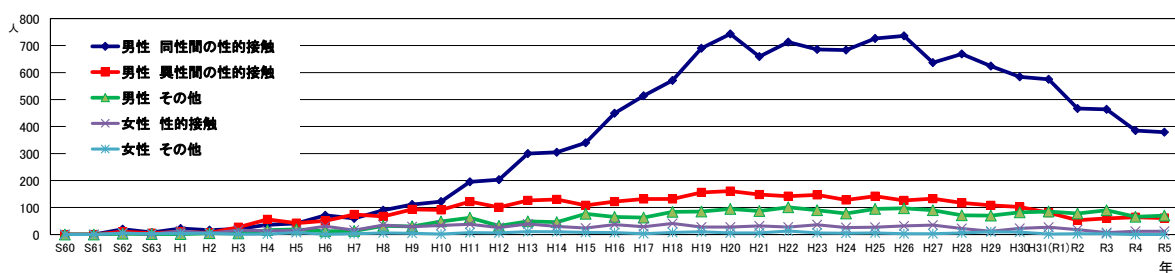


②新規AIDS患者数 推移(全国)【日本国籍・年齢階級別】

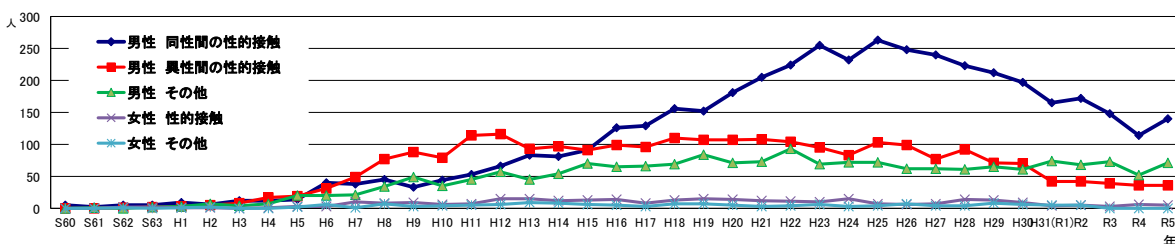


3. 感染経路別推移(全国) (日本国籍のみ)

①新規HIV感染者(全国)



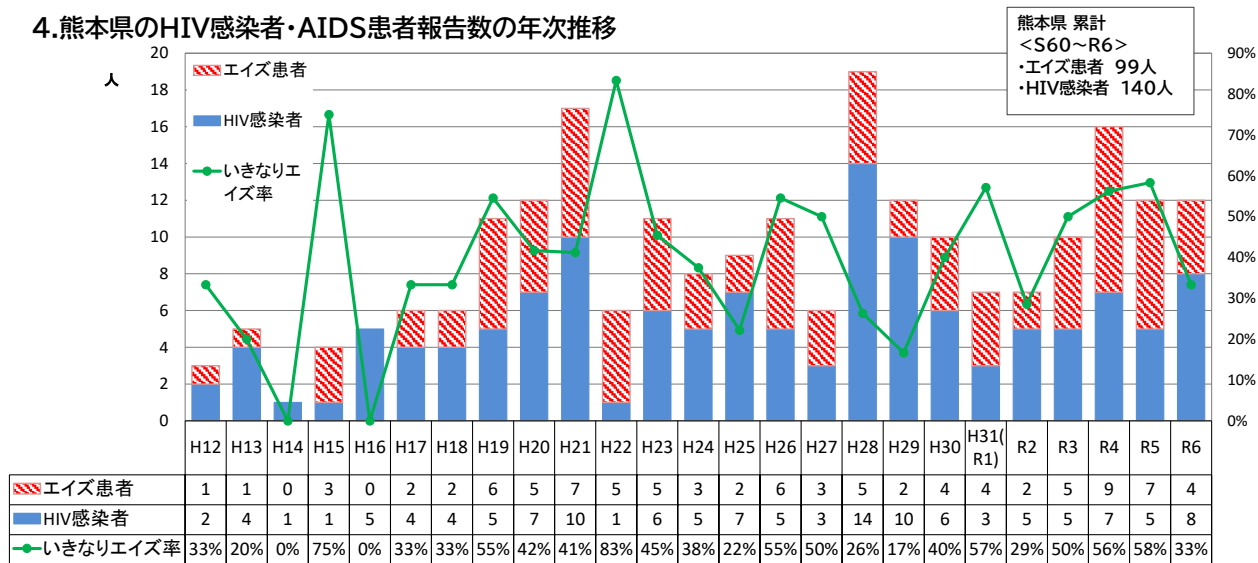
②新規AIDS患者数(全国)



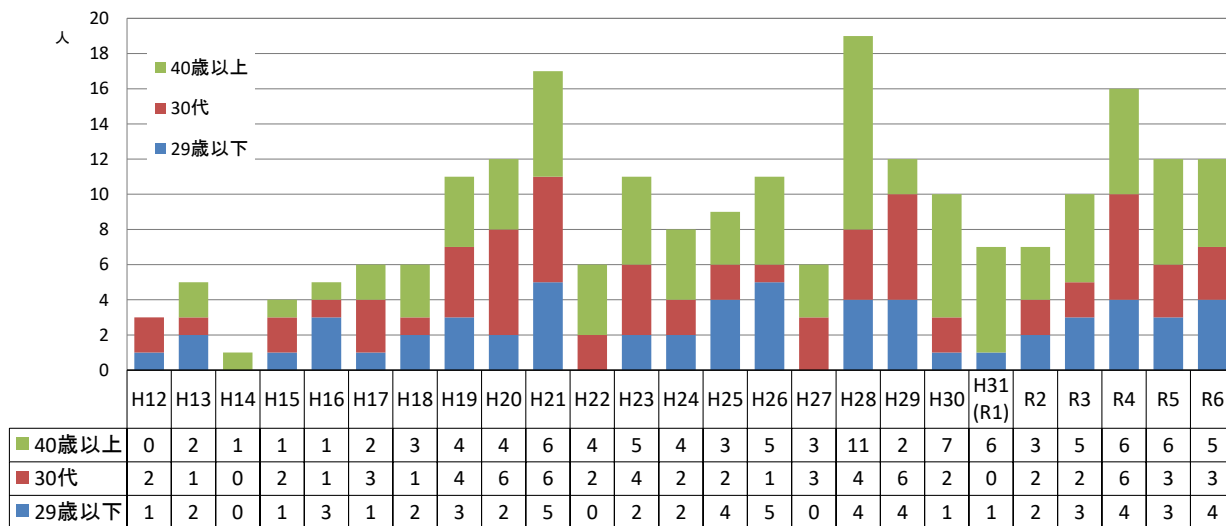
出典: 厚生労働省エイズ動向委員会によるエイズ発生動向年報及びエイズ動向委員会報告

■熊本県のHIV感染者・エイズ患者報告数推移

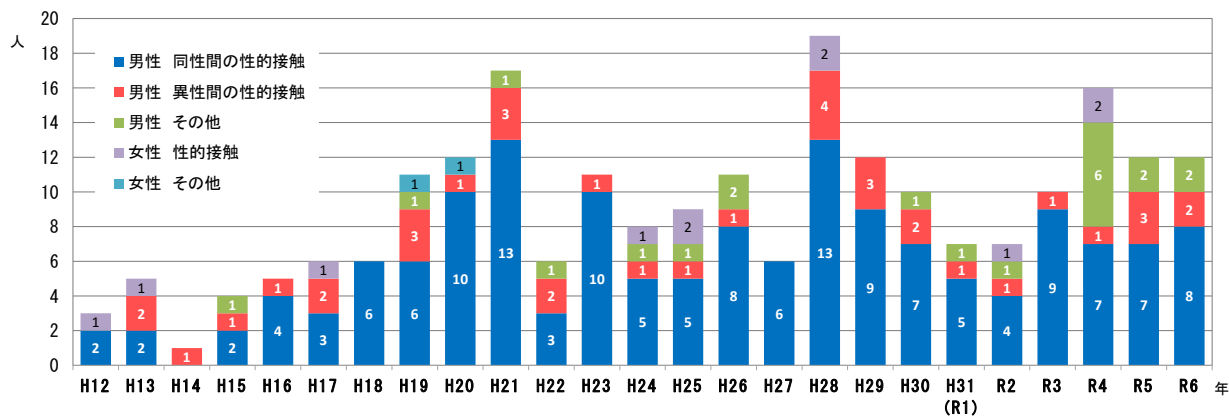
4. 熊本県のHIV感染者・AIDS患者報告数の年次推移



5. 熊本県（年齢階級別）



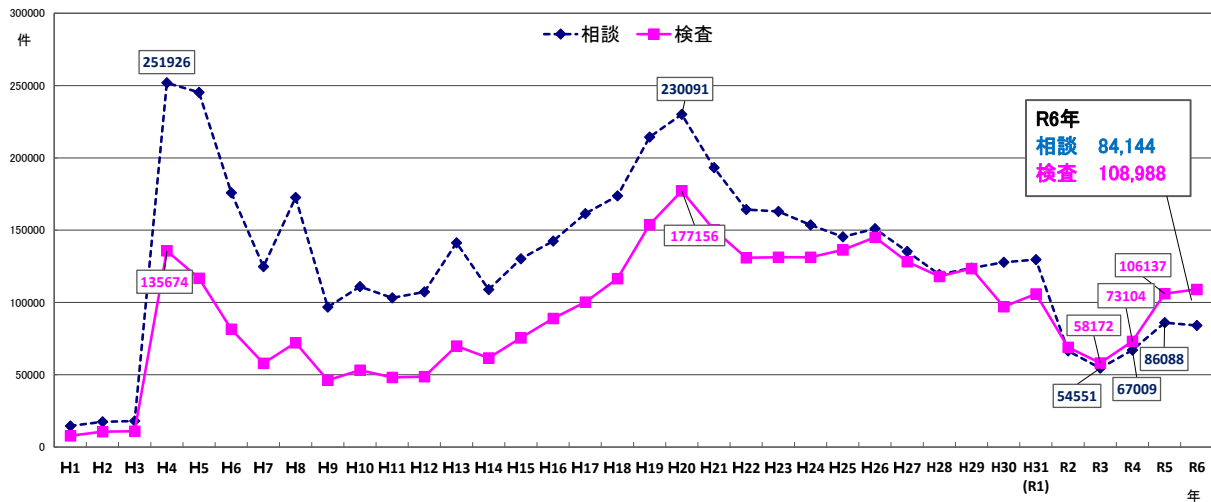
6. 熊本県（感染経路別）



出典：感染症発生動向調査事業
※診断日を基に集計

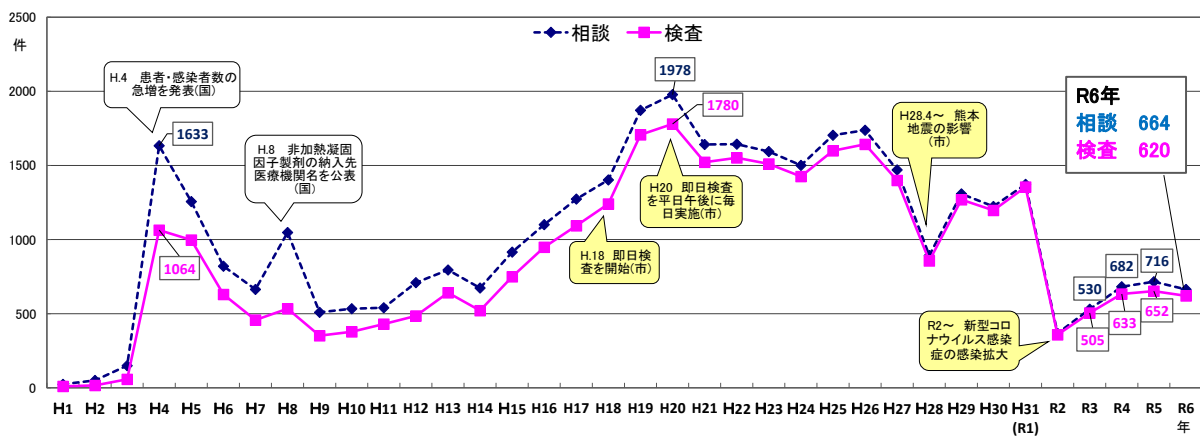
■エイズ相談・検査数推移

7. 保健所などにおけるエイズ相談・検査件数(全国)



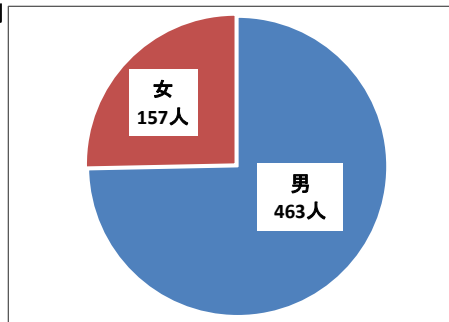
出典：厚生労働省エイズ動向委員会によるエイズ発生動向年報及びエイズ動向委員会報告

8. エイズ相談・検査数の推移(熊本市)

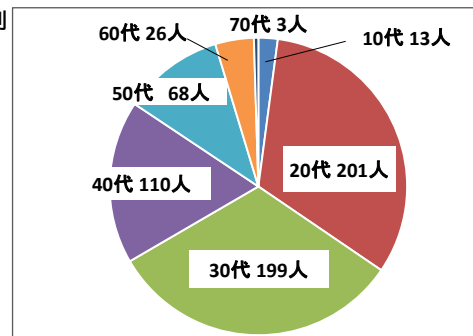


9. 令和6年 エイズ検査数の内訳(熊本市)

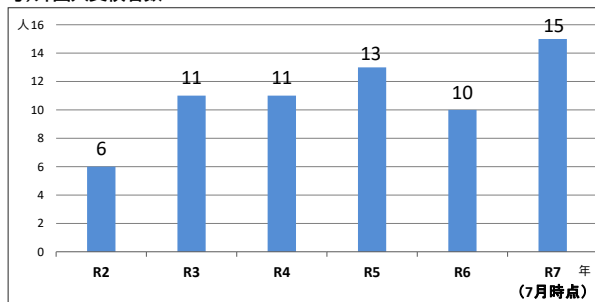
①性別



②年齢別



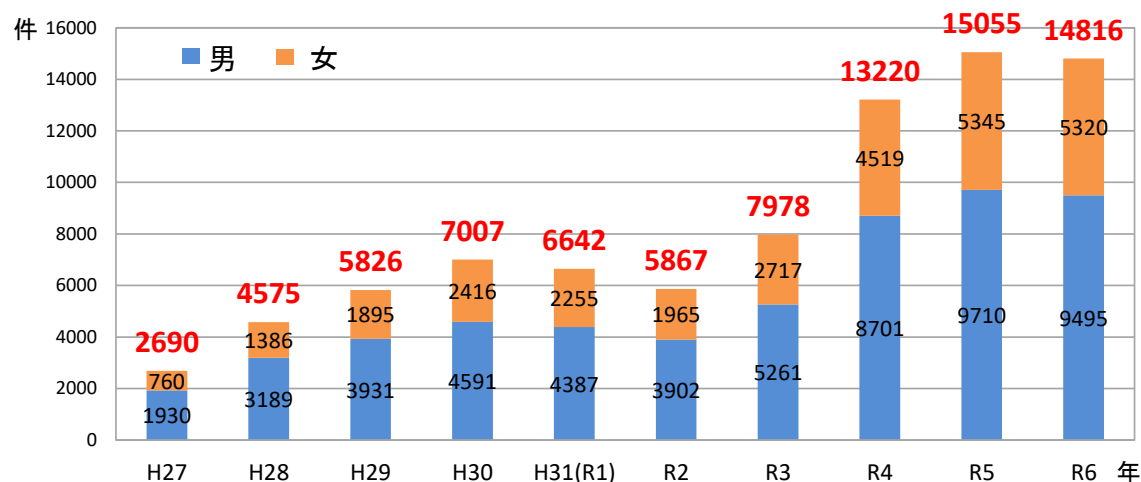
(参考)外国人受検者数



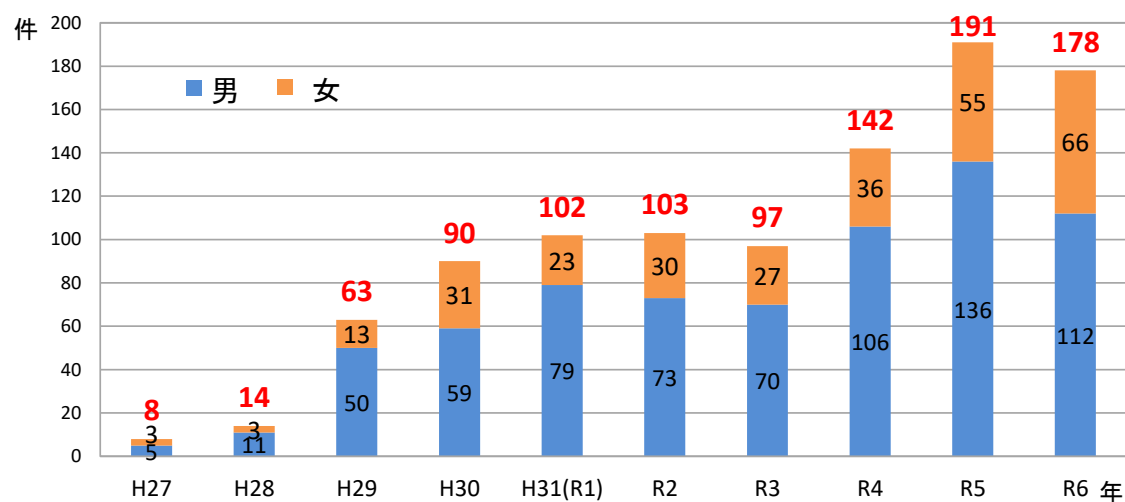
■梅毒の動向

※全数把握:診断した医師からの7日以内の届出により全数を把握

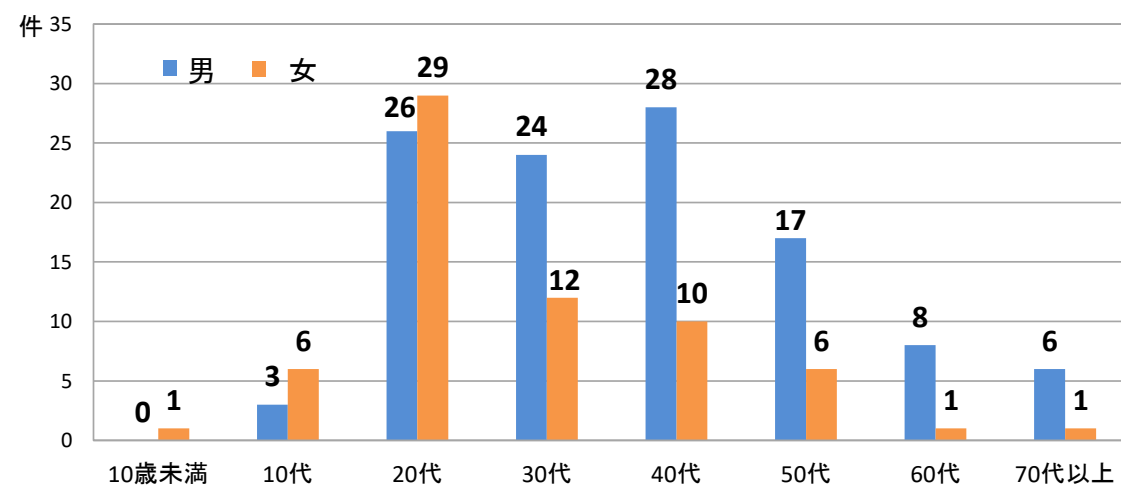
10.梅毒(全数把握)の動向(国)



11.梅毒(全数把握)の動向(熊本市)



12.令和6年 熊本市梅毒の動向(年代別・性別)

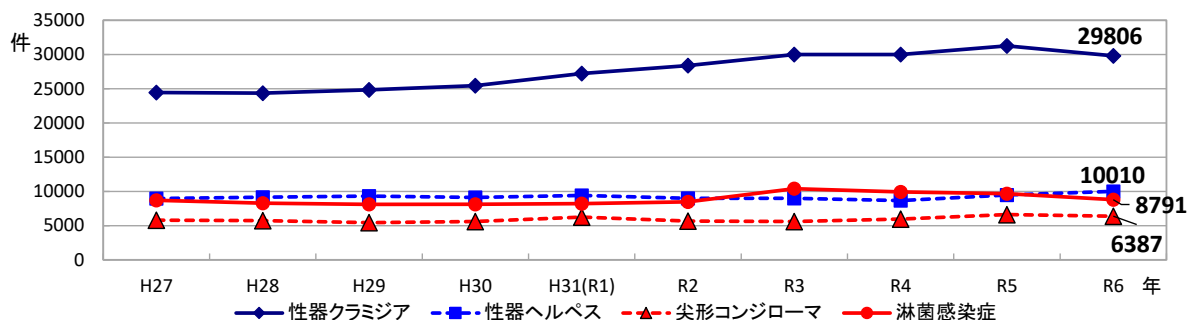


出典:感染症発生動向調査事業
※診断日を基に集計

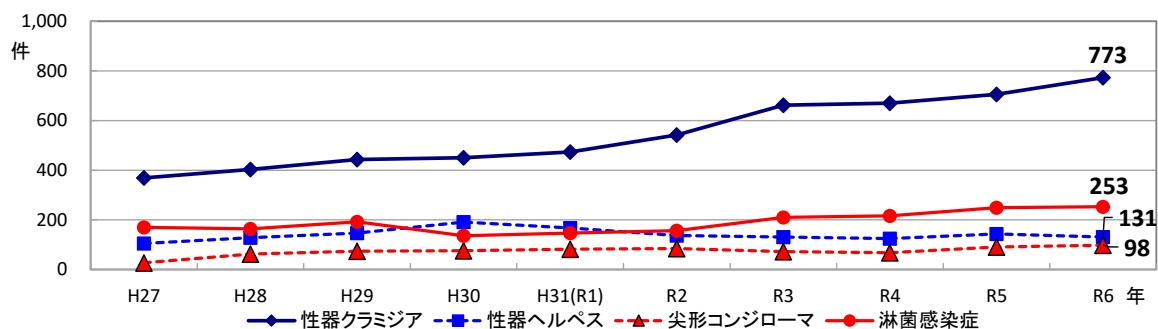
■性感染症の発生動向

※定点把握:STD定点医療機関から月1回の報告により発生状況を把握
(平成25年1月から熊本市のSTD定点数が5から6に増加)

13.性感染症(定点把握)の動向(国)

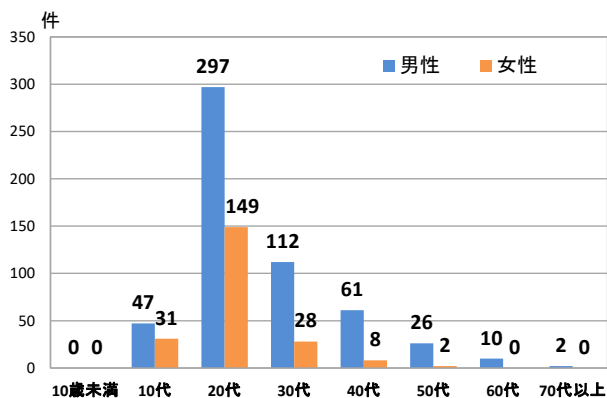


14.性感染症(定点把握)の動向(熊本市)

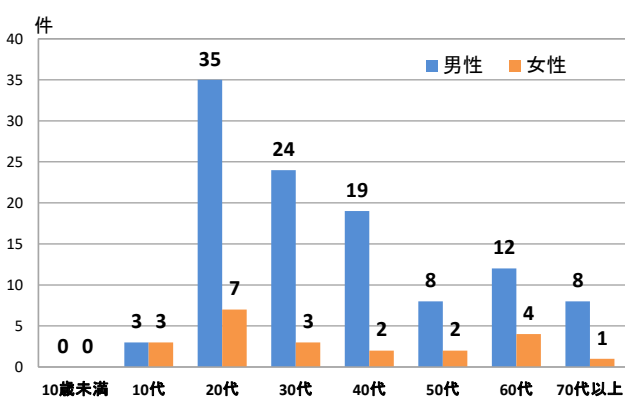


15.令和6年 熊本市性感染症の動向(年代別・性別)

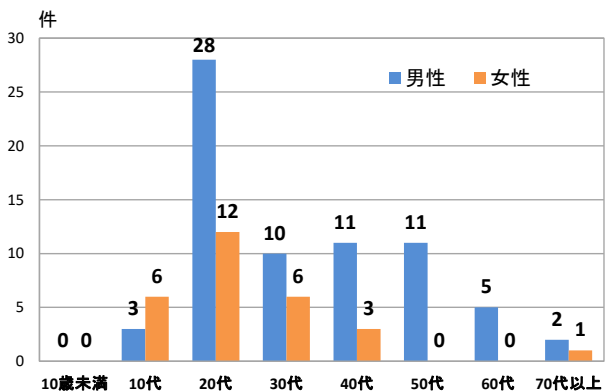
①性器クラミジア感染症



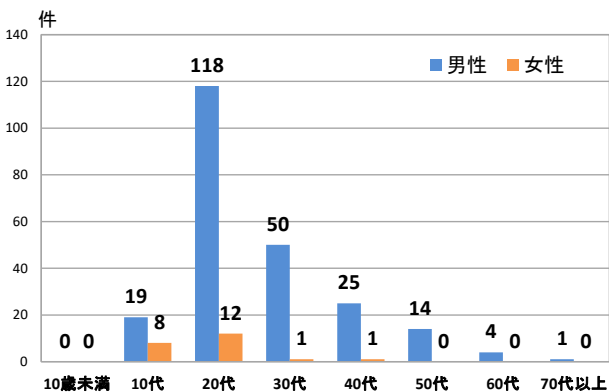
②性器ヘルペス感染症



③尖形コンジローマ



④淋菌感染症



出典:感染症発生動向調査事業
※診断日を基に集計

令和5～9年度 HIV感染および性感染症の予防対策（計画）

目的

HIV及びその他の性感染症の新規感染を減少させる

成果指標及び目標値

- 1 HIV抗体検査数の増加
（現状）令和4年：633件 ⇒（目標）令和9年：1,500件
- 2 熊本市ホームページ（HIV検査等のページ）の閲覧数の増加
（現状）令和4年：17,917件 ⇒（目標）令和9年：21,500件
- 3 熊本県の新規HIV感染者・エイズ患者報告数に占めるエイズ患者の割合の減少
（現状）令和4年：56.3% ⇒（目標）令和9年：28.5%※

※令和4年 全国の平均

3については、令和5年度の本会議後に新しく成果指標に追加した。

取組み方針

- ①普及啓発：広く市民に対し、知識と意識の向上を図り、検査体制の周知を行う。
- ②検査体制の整備：市民にとって利便性の高い検査体制を構築する。また、特に感染リスクが高いと考えられる層（青少年、MSM、性風俗従事者・利用者等）が利用しやすい体制とする。

施策（実施内容）

①正しい知識の普及啓発

〔一般〕

- ・ホームページ、ラジオ、市政だより、SNS等での広報
- ・街頭キャンペーンの実施
- ・啓発物の配布や掲示（ポスター、チラシ、パンフレット、グッズなど）
- ・医療機関への情報提供（啓発リーフレット等提供）

〔青少年〕

- ・出前講座、講師派遣事業の実施
- ・大学生ボランティア等との協働により、高校・大学で啓発キャンペーンを実施
- ・青少年向け啓発物の作成、配布

〔MSM〕

- ・ゲイバー等への啓発物やグッズの配布
- ・MSM当事者に配慮した情報発信方法の検討、実施

〔性風俗従事者・利用者〕

- ・ 情報収集、検査利用者への情報提供
- ・ 店舗型性風俗特殊営業所の責任者等へ啓発資料を配布、検査の情報提供

②検査相談体制の整備

- ・ 平日昼間の即日検査を継続実施
- ・ 休日、夜間の特例検査について、より効果的な検査方法を検討
- ・ 対象者を限定した検査の実施（例：MSM、青少年、性風俗産業従事者など）
- ・ 医療機関への業務委託を検討（保健所の検査は継続）

熊本市エイズ対策事業 令和6年度報告・令和7年度計画

I 正しい知識の普及啓発

施策層	令和6年度報告	令和7年度計画
青少年	【教育関係】 ★高校・専門学校への講師派遣事業 ※泌尿器科医、産婦人科医の専門医等を派遣 ・周知 4月 ・実績 2校(専門学校2)、145人 ★出前講座(エイズ・性感染症予防講座) ※感染症予防課職員が実施 ・周知 4月 ・実績 4校(中学校3、聾学校)、1,005人 【啓発活動】 ●高校、大学への啓発 ポスター掲示及び啓発パンフレットの配布 ●ピアエデュケーターとの協働 熊本大学医学部保健学科 ピアカウンセリングサークル「くまびあ」 HIV勉強会、オリジナル啓発物作成、SNSによる啓発、大学学園祭でのピアカウンセリング 【大学学園祭でのキャンペーン】 熊本保健科学大学「杏祭」 令和6年10月19日 ●はたちの記念式典(旧 成人式) 令和7年1月13日 ポスター掲示及び啓発パンフレットの配布 	【教育関係】 ★高校・専門学校への講師派遣事業 ※泌尿器科医、産婦人科医の専門医等を派遣 ・周知 4月 ・令和7年8月末時点の実績 2校 ★出前講座(エイズ・性感染症予防講座) ※感染症予防課職員が実施 ・周知 4月 ・令和7年8月末時点の実績 2校 【啓発活動】 ●高校、大学への啓発 ポスター掲示及び啓発パンフレットの配布 ●ピアエデュケーターとの協働 熊本大学医学部保健学科 ピアカウンセリングサークル「くまびあ」 HIV勉強会、SNSによる啓発、 高校・大学学園祭でのピアカウンセリング 【高校文化祭でのキャンペーン】 尚綱高校(実施) 令和7年7月12日 慶誠高校(実施予定) 令和7年11月1日 【大学学園祭でのキャンペーン】 熊本大学「紫熊祭」(実施予定) 令和7年11月2日～4日 ●はたちの記念式典(旧 成人式) 令和8年1月12日予定 ポスター掲示及び啓発パンフレットの配布

施策層	令和 6 年度報告	令和 7 年度計画
青少年	【啓発物作成・配布・貸出し】 ●啓発物配布 啓発パネル展（6 月・12 月）実施時、研修会、キャンペーンなど ●パンフレット提供（購入分） 各団体、学校、医療機関、事業者等へ配布・実績 熊本県栄養士会ほか ●啓発パネルの貸出し ●教育用 DVD 貸出し	【啓発物作成・配布・貸出し】 ●啓発物配布 啓発パネル展（6 月・12 月）実施時、研修会、キャンペーンなど ●パンフレット提供（購入分） 各団体、学校、医療機関、事業者等へ配布 ●啓発パネルの貸出し ●教育用 DVD 貸出し
MSM （男性間で性行為を行う者をいう。以下同じ。）	【熊本のゲイ当事者サークル「Safety Blanket」※¹との協働】 ●HIV 検査普及啓発 Safety Blanket より SNS にて特例検査等の周知 ●情報交換（随時） 情報交換、情報共有 ●ゲイバーイベントでのコンドーム配布 ●市ホームページに HIV 検査啓発記事掲載 「熊本市保健所での検査の受け方」（写真説明入り）（継続） 【その他】 ●市内のゲイバー5ヶ所に特例 HIV 検査案内チラシ、コンドームを送付 ●相談室に MSM 向けパンフレット及びステッカー添付コンドームを陳列（持ち帰り自由） ●相談室に MSM 向け啓発パネル展示 ●セクシュアリティに配慮した啓発活動・情報収集 ●相談室・待合室に LGBT 関連冊子（閲覧用）を設置 ●ホームページの HIV 検査案内記事へ、関連情報とともに、ゲイ・バイセクシャル男性向け情報も掲載 ●熊本市公式 LINE による情報発信 対象者：20～50 代男性 性感染症予防啓発記事を定期的に配信	【熊本のゲイ当事者サークル「Safety Blanket」との協働】 ●HIV 検査普及啓発 Safety Blanket より SNS にて特例検査等の周知 ●情報交換（随時） 情報交換、情報共有 ●ゲイバーイベントでのコンドーム配布 ●市ホームページに HIV 検査啓発記事掲載 「熊本市保健所での検査の受け方」（写真説明入り）（継続） 【その他】 ●市内のゲイバー4ヶ所に特例 HIV 検査案内チラシ、コンドームを送付 ●相談室に MSM パンフレット及びステッカー添付コンドームを陳列（持ち帰り自由） ●相談室に MSM 向け啓発パネル展示 ●セクシュアリティに配慮した啓発活動・情報収集 ●相談室・待合室に LGBT 関連冊子（閲覧用）を設置 ●ホームページの HIV 検査案内記事へ、関連情報とともに、ゲイ・バイセクシャル男性向け情報も掲載 ●熊本市公式 LINE による情報発信 対象者：20～50 代男性 性感染症予防啓発記事を定期的に配信
外国人	●外国語パンフレット陳列、配布 ●市ホームページ掲載（英語版） ●タブレットを使用し、翻訳アプリを活用	●外国語パンフレット陳列、配布 ●市ホームページ掲載（英語版） ●タブレットを使用し、翻訳アプリを活用

施策層	令和 6 年度報告	令和 7 年度計画
性風俗産業従事者・利用者	●検査相談利用時に個別に情報提供	●検査相談利用時に個別に情報提供
薬物乱用者	●情報収集	●情報収集
市民	【マスコミ】 ●ラジオ広報:4 回実施 ●市政だより:2 回(6 月、12 月) ●熊本市公式 X(旧 Twitter)、LINE を定期的に情報発信 ●各区役所及び総合出張所窓口番号案内モニター広告にて啓発動画放映 ●YouTube にて「HIV・梅毒」啓発動画配信 【啓発活動】 ●HIV 検査案内チラシ・カードの作成・配布(随時) ●エイズ予防啓発ポスター ・HIV 検査普及週間、エイズデー啓発ポスターによる啓発 ●ウェルパルクまもと1階玄関ホールおよび4階窓口に啓発パンフレット、グッズを配置(常時) ●ウェルパルクまもと1階ウインドウに特大ポスター掲示(随時更新) ●産婦人科、泌尿器科等への性感染症パンフレット、チラシ送付 ●エイズ啓発パネル展示 ウェルパルクまもと1階玄関ホールにて ・6 月 HIV 検査普及週間前後に展示 ・12 月 世界エイズデー前後に展示 ●「HIV 検査普及週間」「世界エイズデー」に合わせて熊本城天守閣ライトアップ(赤色) ●エイズ相談室周辺にパネル展示(常設) ●熊本市ホームページを利用した情報発信、ホームページ内容の改善・随時更新(「エイズ啓発資材」)	【マスコミ】 ●ラジオ広報 ●市政だより ●熊本市公式 X(旧 Twitter)、LINE を定期的に情報発信 ●各区役所及び総合出張所窓口番号案内モニター広告にて啓発動画放映 ●YouTube にて「HIV・梅毒」啓発動画配信 ●Instagramへの「性感染症啓発動画」投稿予定 【啓発活動】 ●第 96 回メーデー熊本中央祭典での啓発 令和 7 年 4 月 26 日 ●HIV 検査案内チラシ・カードの作成・配布(随時) ●エイズ予防啓発ポスター ・HIV 検査普及週間、エイズデー啓発ポスターによる啓発 ●ウェルパルクまもと1階玄関ホールおよび4階窓口に啓発パンフレット、グッズを配置(常時) ●ウェルパルクまもと1階ウインドウに特大ポスター掲示(随時更新) ●産婦人科、泌尿器科等への性感染症パンフレット、チラシ送付 ●エイズ啓発パネル展示 ウェルパルクまもと1階玄関ホールにて ・6 月 HIV 検査普及週間前後に展示 ・12 月 世界エイズデー前後に展示 ●「HIV 検査普及週間」「世界エイズデー」、日本エイズ学会に合わせて熊本城天守閣ライトアップ(赤色) ●エイズ相談室周辺にパネル展示(常設) ●熊本市ホームページを利用した情報発信、ホームページ内容の改善・随時更新(「エイズ啓発資材」)

施策層	令和 6 年度報告	令和 7 年度計画
市民	●ホームページアクセス数(件) 「熊本市 HIV(エイズ)検査相談※2」(R6.4～R7.3) 14,698件(月あたり約 1,225 件) 「HIV(エイズ)検査の WEB 予約について」(R6.4～R7.3) 4,826 件(月あたり約 402 件)	●ホームページアクセス数(件) 「熊本市 HIV(エイズ)検査相談」(R7.4～R7.7) 3,789 件(月あたり約 947 件) 「HIV(エイズ)検査の WEB 予約について」(R7.4～R7.7) 1,238 件(月あたり約 310 件)

※1 Safety Blanket(旧称「KK」平成 28 年 2 月に改名)

平成 25 年 12 月に結成された熊本のゲイ当事者によるサークル。

平成 26 年 9 月から熊本市と協働してエイズ啓発活動等を行っている。

※2 熊本市ホームページ内「熊本市 HIV(エイズ)検査相談」(スマートフォン対応)

https://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=3355&class_set_id=3&class_id=575

(スマートフォン用 QR コード⇒)



2 相談検査体制の充実

	令和 6 年度報告	令和 7 年度計画
検査体制の充実	●エイズ相談検査体制 ・即日検査(予約制) 火～木曜日 9:00～11:00 ・特例検査(即日検査、予約制) ① 6/2(日) 受付 13:30～14:30 受検者 18 人 ② 12/1(日) 受付 13:30～14:30 受検者 19 人 ※無料・匿名 ※相談室、待合室は個室対応(特例検査を除く) ※希望者は、梅毒検査を同時受検可能(特例検査では、クラミジアPCR検査も同時受検可能) ●WEBでの検査予約受付 ●YouTube で検査前説明を動画配信(検査予約者専用)	●エイズ相談検査体制 ・即日検査(予約制) 火～木曜日 9:00～11:00 ・特例検査(即日検査、予約制) ① 6/1(日) 受付 13:30～14:30 ※実施済 受検者 19 人 ※無料・匿名 ※相談室、待合室は個室対応(特例検査を除く) ※希望者は、梅毒検査を同時受検可能(特例検査では、クラミジアPCR検査も同時受検可能) ② 12/7(日) 受付 13:30～14:30 実施予定 ●WEBでの検査予約受付 ●YouTube で検査前説明を動画配信(検査予約者専用)

	令和 6 年度報告	令和 7 年度計画
検査体制 の充実	●受検者アンケートの実施 受検者へアンケートを実施し、検査体制の改善につなげる（アンケートは任意回答） ※令和 6 年 7 月よりアンケート内容を変更 ●外国人受検者向け検査前説明プリント及び結果説明プリントの作成、活用 ●検査数 ■実績（件）令和 6 年度 ・相談数 652 検査数 607 特例検査〔再掲〕相談 37 検査 37 ・梅毒検査 584 ・クラミジア PCR 検査 31	●受検者アンケートの実施 受検者へアンケートを実施し、検査体制の改善につなげる（アンケートは任意回答） ●外国人受検者向け検査前説明プリント及び結果説明プリントの作成、活用 ●検査記録カードの英語版作成 ●在留外国人専用 HIV 検査枠の設置 （月 2 回・令和 7 年 8 月～令和 8 年 2 月） ※厚生労働省「在留外国人に対する HIV 検査や医療提供の体制構築に資する研究」班との協働事業 ●多言語対応翻訳アプリの試供中 ●HIV 及び性感染症郵送検査 令和 7 年 12 月、令和 8 年 2 月実施予定 ●検査数 〈令和 7 年 4 月～8 月までの実績（件）〉 ・相談数 283 検査数 273 特例検査〔再掲〕相談 19 検査 19 ・梅毒検査 260 ・クラミジア PCR 検査 18 ●受検者に「U=U フライヤー」・「熊本市性感染症発生状況のちらし」を配布、説明 ●PrEP 小冊子を配布（希望者のみ）
相談業務 の充実	【研修・会議】 ・「HIV/エイズ基礎研修会」（エイズ予防財団）（オンライン研修） 6/21 1 名参加 ・「HIV 検査相談研修会」（エイズ予防財団）（オンライン研修） 8/22～8/23 1 名参加 ・「九州ブロックエイズ拠点病院研修会」（国立病院機構九州医療センター）（オンライン研修） 10/4 3 名参加 ・「九州ブロックエイズ診療ネットワーク会議」（オンライン会議） 10/17 1 名参加 ・「エイズ対策研修」（国立保健医療科学院）（オンライン研修） 10/15～10/18 1 名参加	【研修・会議】 ・「HIV/エイズ基礎研修会」（エイズ予防財団）（オンライン研修） 6/27 1 名参加 ・「HIV 検査相談研修会」（エイズ予防財団）（オンライン研修） 8/21～8/22 1 名参加 ・「青少年エイズ対策事業研修会」（宝塚大学）（オンライン研修） 9/11 1 名参加予定 ・「九州ブロックエイズ拠点病院研修会」（国立病院機構九州医療センター）（オンライン研修） 10/3 2 名参加予定 ・「九州ブロックエイズ診療ネットワーク会議」（オンライン会議） 10/23 1 名参加予定

	令和 6 年度報告	令和 7 年度計画
相談業務 の充実	「青少年エイズ対策事業研修会」(宝塚大学)(オンライン研修) 10/24 1 名参加 【その他】 ●相談室及び周辺等に掲示板を設置、内容を改善・随時更新 ・熊本の LGBT 支援団体等の紹介パネルやパンフレットを設置	【その他】 ●相談室及び周辺等に掲示板を設置、内容を改善・随時更新 ・熊本の LGBT 支援団体等の紹介パネルやパンフレットを設置

○HIV 検査普及週間 6/1~7 ○世界エイズデー 12/1

3 その他

(1) 医療体制および生活支援体制

	令和 6 年度報告	令和 7 年度計画
医療体制	●検査陽性時、拠点病院の受診に同伴(希望時) ●拠点病院との連携・情報交換 ・随時、担当者間で情報交換 ・12/19 熊本市エイズ相談員研修(MSM 対策)5 名参加 ・3/18 令和 6 年度熊本県 HIV 感染症 AIDS 症例検討会(熊本大学病院)2 名参加 ●一般の医療機関(泌尿器科、産婦人科、皮膚科)へエイズ・性感染症に関する情報を提供 ・「森都医報(熊本市医師会)R7.1 月号」HIV/エイズの現状と対策について	●検査陽性時、拠点病院の受診に同伴(希望時) 熊本市版「たんぽぽ」配布 ●拠点病院との連携・情報交換 ・随時、担当者間で情報交換 ●一般の医療機関(泌尿器科、産婦人科、皮膚科)へエイズ・性感染症に関する情報を提供 ・「森都医報(熊本市医師会)R8.1 月号」啓発記事掲載予定
生活支援 体制・福 祉制度	●必要時、関係機関やホームヘルパー等に HIV に対する正しい情報を提供 ※福祉制度:身体障害者手帳及び更生医療による医療費助成・福祉サービス(担当課:障がい福祉課)	●必要時、関係機関やホームヘルパー等に HIV に対する正しい情報を提供 ※福祉制度:身体障害者手帳、更生医療による医療費助成・福祉サービス(担当課:障がい福祉課)

(2) 推進体制の整備

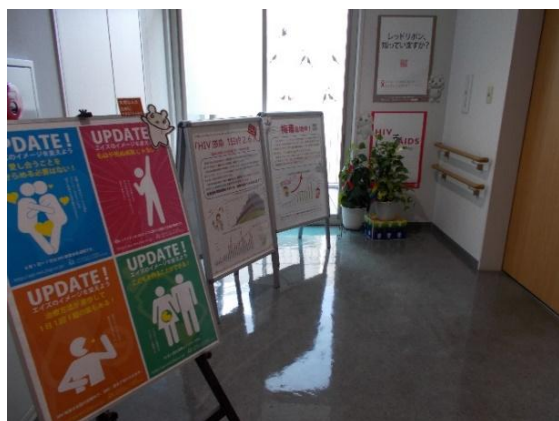
	令和 6 年度報告	令和 7 年度計画
熊本市エイズ総合対策推進会議	●令和 6 年 10 月 22 日会議開催 ●報告書作成 ●エイズ対策の目標値(指標)に関する施策及び実績の報告、評価	●令和 7 年 9 月に会議開催 ●報告書作成 ●エイズ対策の目標値(指標)に関する施策及び実績の報告、評価
NGO とのパートナーシップ推進	●ボランティア団体との協働(情報交換等)	●ボランティア団体との協働(情報交換等)

※実際の様子

熊本市保健所 エイズ相談室内



熊本市保健所 エイズ相談室前廊下



受検者アンケート回答まとめ

令和 6 年(2024 年)7 月より、アンケート内容を変更。

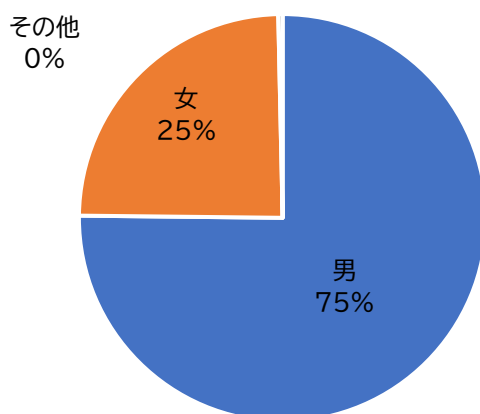
【変更点】

- ・性行為の相手について
- ・コンドームについて
- ・HIV 感染予防薬 PrEP(暴露前予防について)
- ・U=U について

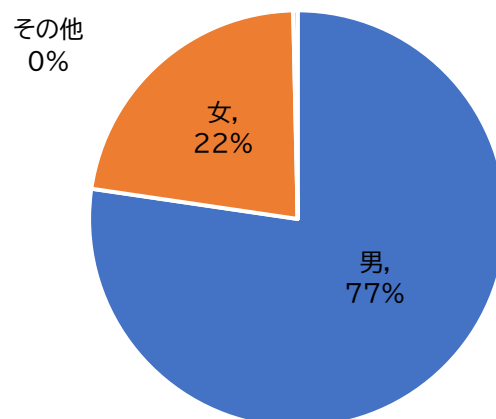
※R6 年 7 月～R6 年 12 月(回答数 297)、R7 年 1 月～R7 年 6 月(回答数 299)
においてアンケートを比較。

①性別

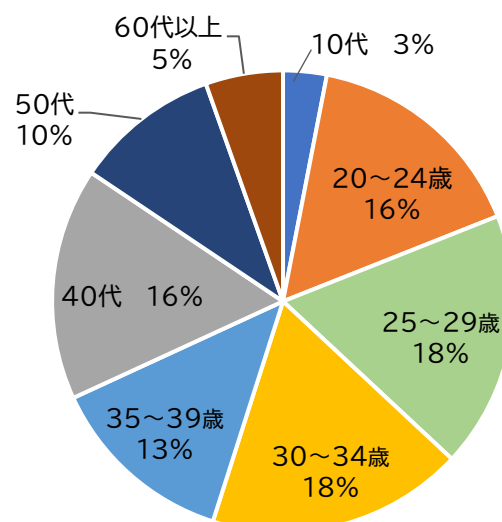
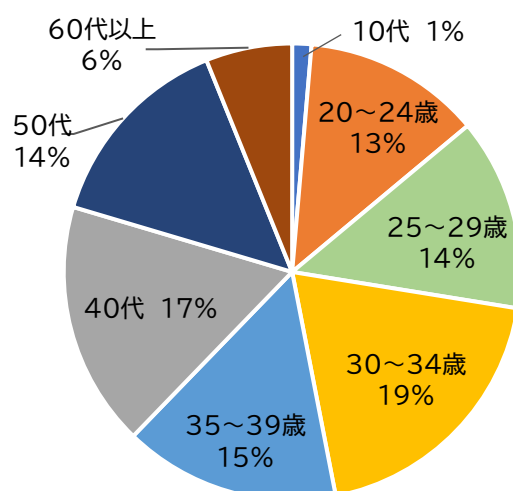
R6 年 7 月～R6 年 12 月



R7 年 1 月～R7 年 6 月

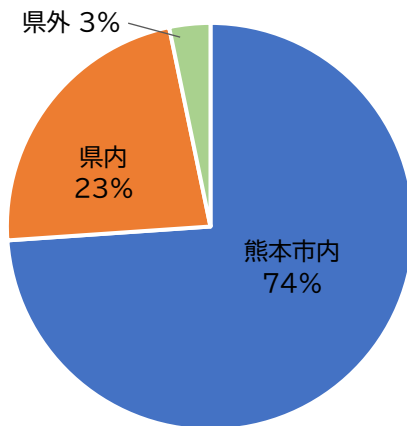


②年代

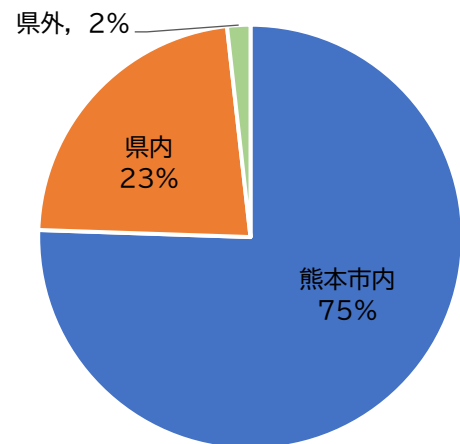


③居住地

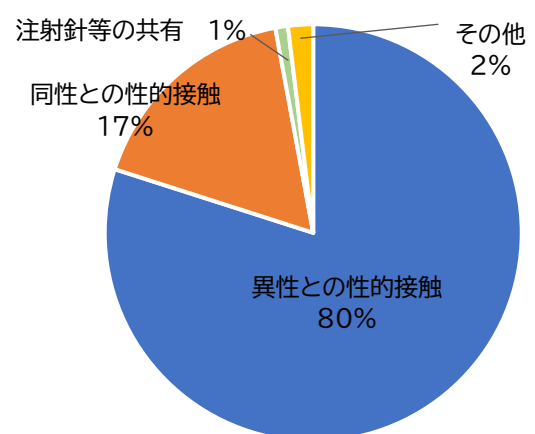
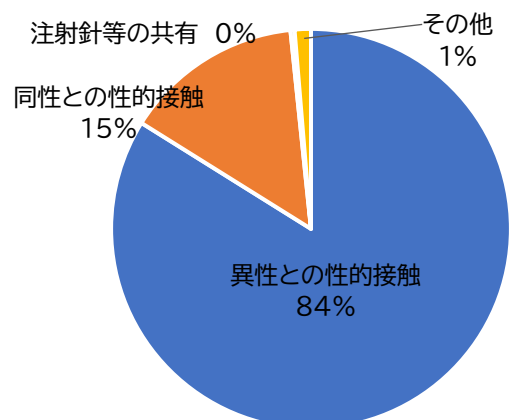
R6 年 7 月～R6 年 12 月



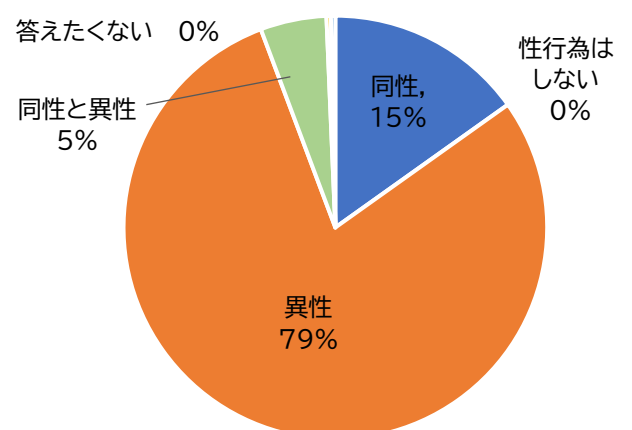
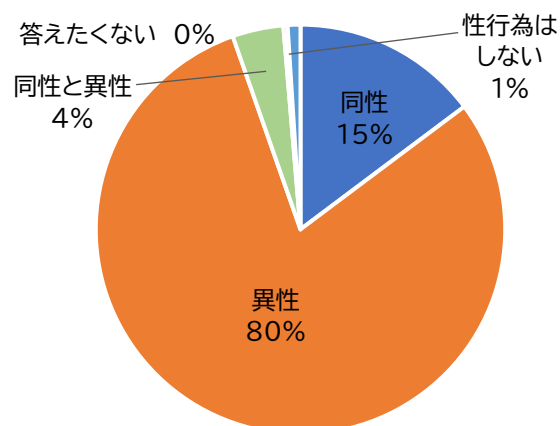
R7 年 1 月～R7 年 6 月



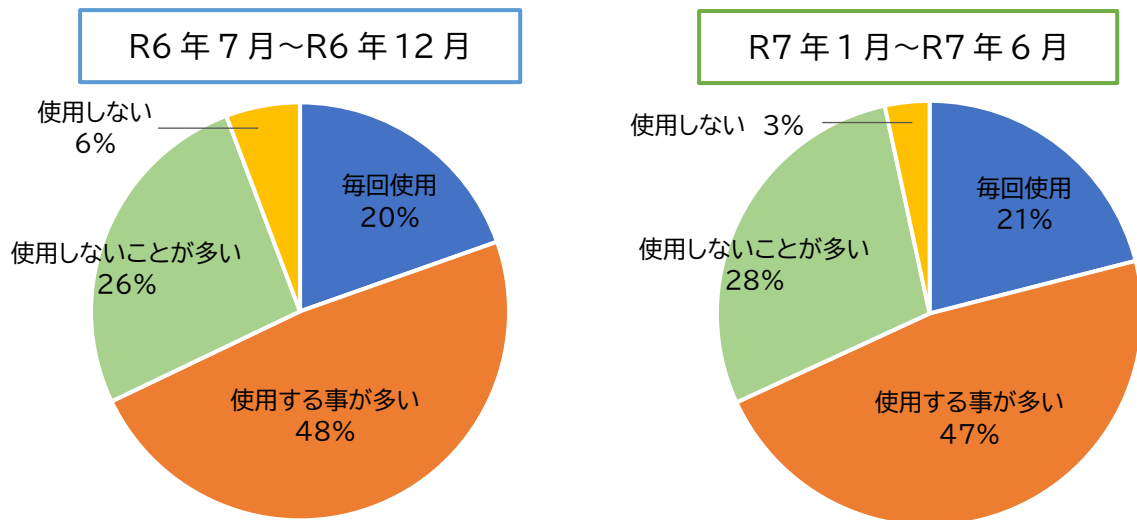
④HIV 検査受検の動機



⑤性行為の相手

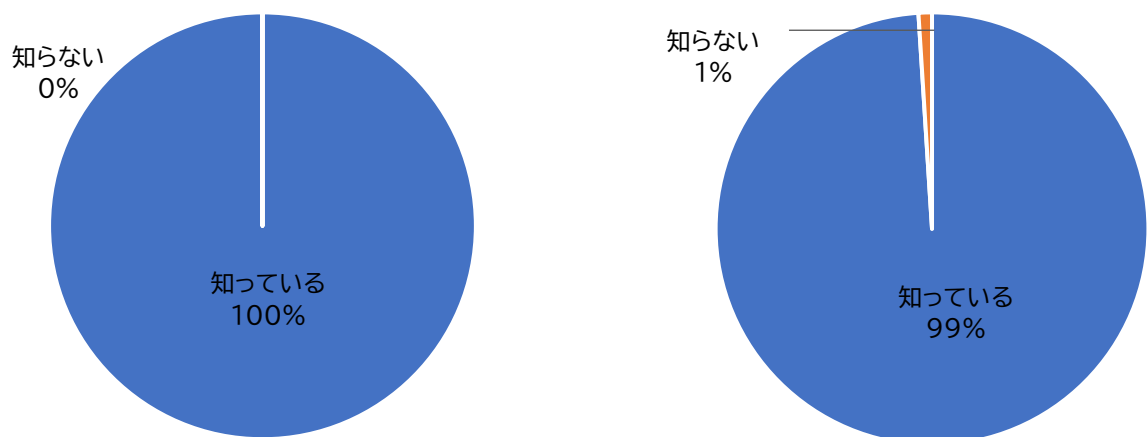


⑥性行為時のコンドームの使用について

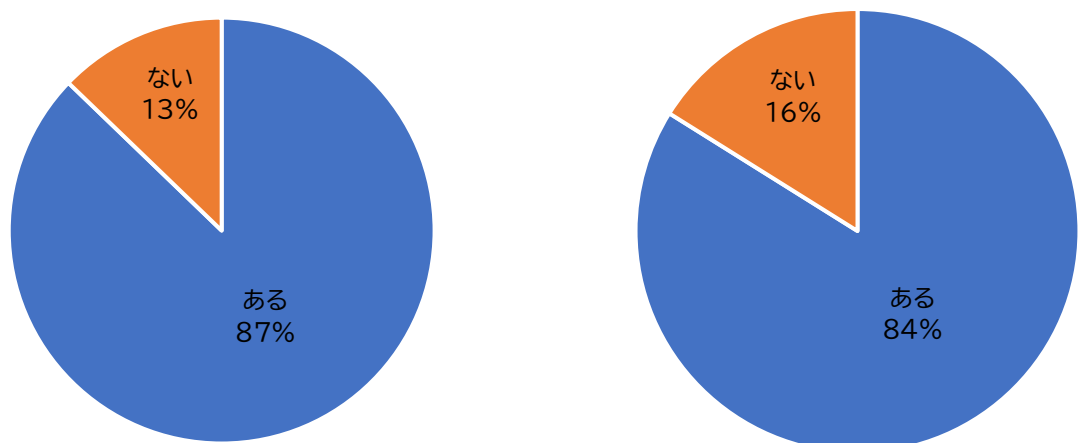


⑦コンドームが性感染症予防に有効であることを知っているか

※有効ではない性感染症もある

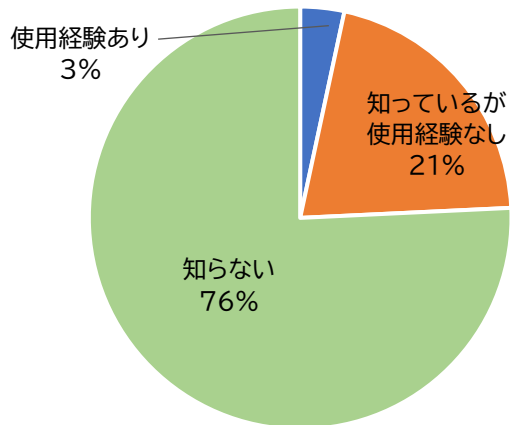


⑧コンドームの正しい装着について考えたことはあるか

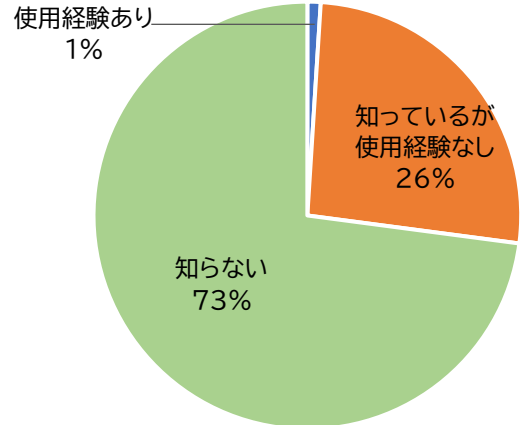


⑨PrEP(暴露前予防)を知っているか

R6年7月～R6年12月

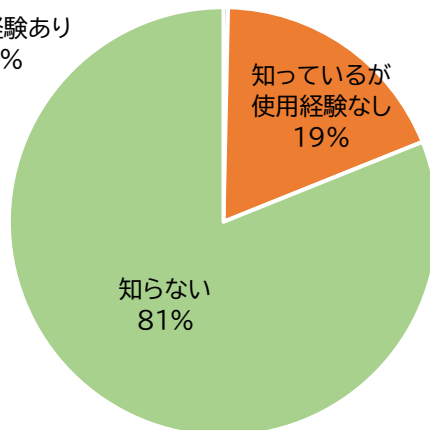


R7年1月～R7年6月

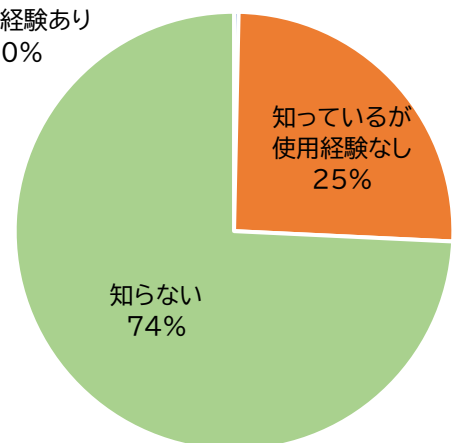


⑩PEP(暴露後予防)について知っているか

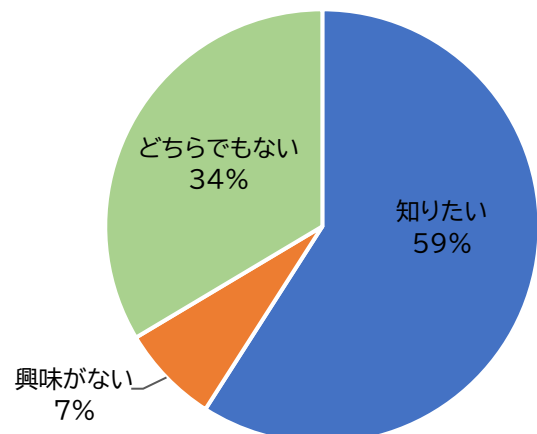
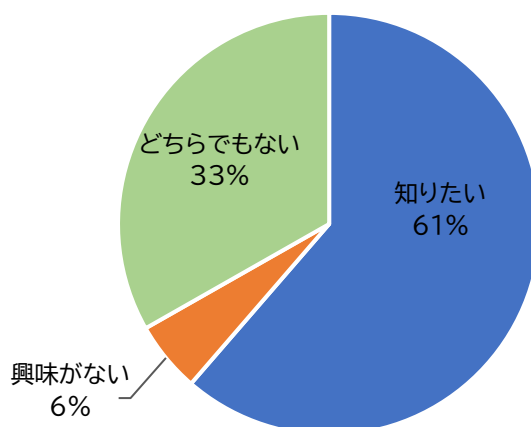
使用経験あり
0%



使用経験あり
0%

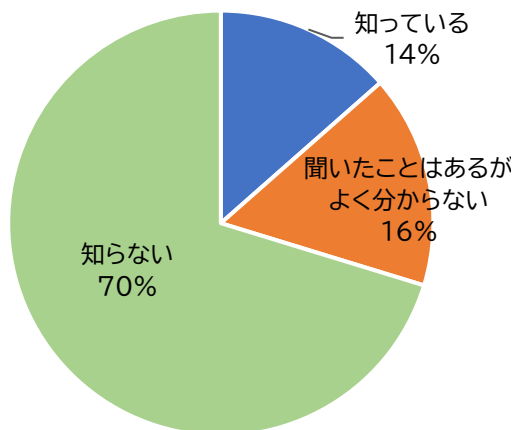


⑪PrEP、PEP について詳しく知りたいか

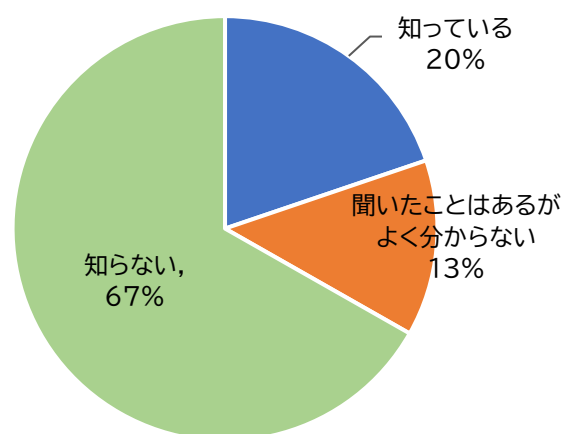


⑫U=U(ユーイコールユー)を知っているか

R6 年 7 月～R6 年 12 月



R7 年 1 月～R7 年 6 月



第164回エイズ動向委員会 委員長コメント
《令和6年 HIV感染者・エイズ患者の年間新規報告数（速報値）》

【概要】

1. 今回の報告期間は、令和6年1月1日～12月31日の1年間
2. 新規HIV感染者報告数は、664件（過去20年間で、2番目に少ない報告数）
3. 新規エイズ患者報告数は、336件（過去20年間で、5番目に少ない報告数）
4. HIV感染者とエイズ患者を合わせた新規報告数は1,000件
（過去20年間で、3番目に少ない報告数）

【感染経路・年齢等の動向】

1. **新規HIV感染者：**
 - 同性間性的接触によるものが419件（全HIV感染者報告数の約63%）
 - 異性間性的接触によるものが106件（全HIV感染者報告数の約16%）
 - 静注薬物によるものは0件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、20～40歳代が多い。
2. **新規エイズ患者：**
 - 同性間性的接触によるものが173件（全エイズ患者報告数の約51%）
 - 異性間性的接触によるものが54件（全エイズ患者報告数の約16%）
 - 静注薬物によるものは1件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、30～50歳代が多い。

【検査・相談件数の概況】

1. 保健所等におけるHIV抗体検査件数は108,988件
（過去20年間で、6番目に少ない件数）
2. 保健所等における相談件数は84,144件
（過去20年間で、4番目に少ない件数）

【まとめ】

1. 令和6年の新規HIV感染者報告数は、令和5年と比べおおむね横ばい（－約1%）であるが、保健所等での検査件数の伸びが鈍化していることが影響している可能性がある点に留意し、今後の状況を注視していく必要がある。
2. 令和6年の新規エイズ患者報告数は、令和5年と比べ増加（＋約15%）した。また、令和4年より2年連続で増加し、新規報告数全体に占めるエイズ患者報告数の割合は33.6%と過去20年間で最も高い割合となっている。これは、新型コロナウイルス感染症の流行等により保健所等でのHIV検査件数が減少していたことにより、エイズを発症するまで診断を受けていなかった患者が増えていることが可能性の一つとして考えられる。また、外国国籍のエイズ患者報告数が増加しており、日本国籍だけでなく、外国国籍の感染者・患者についても、早期発見と早期治療が重要である。なお、エイズ患者の増加については、ト

レンドが変わってきている可能性も疑われるため、今後の状況を注視していく必要がある。

3. 新規H I V感染者の感染経路は、性的接触によるものが約 79%（うち約 80%が同性間）、新規エイズ患者では約 68%（うち約 76%が同性間）となっている。また、新規H I V感染者・新規エイズ患者ともに、男性が全体の 9 割を超えている。
4. 保健所等におけるH I V抗体検査件数は、前年に比べおおむね横ばい（+約 3%）である。新型コロナウイルス感染症の流行以前の水準にはまだ達していないこともあり、検査件数の更なる増加が必要だと考えられる。保健所及び自治体におかれては、エイズ予防指針を踏まえ、引き続き利便性に配慮したH I V検査相談体制を推進していただきたい。
5. 献血時のH I V抗体・核酸増幅検査における 10 万件当たりの陽性件数は令和 5 年と比べて増加した。近年と比較し件数が多いわけではないが、今後の状況を注視していく必要がある。なお、H I V感染リスクがある方は、保健所等での無料・匿名検査や医療機関による検査を受けていただきたい。
6. H I V感染症は予防可能な感染症であり、適切な予防策をとることが重要である。また、エイズ発症予防のためには、早期発見と早期治療が重要である。感染予防と早期発見は、社会における感染の拡大防止にもつながることから、首都圏を始め都市部、また都市部以外の地域においても、梅毒などの性感染症を含め、保健所等での無料・匿名の検査・相談や医療機関による検査を積極的にご利用いただきたい。

令和7年度「世界エイズデー」キャンペーンテーマについて

1 キャンペーンテーマ

U=U 検出されない＝性感染しない

2 趣 旨

本キャンペーンテーマは、主として次に掲げるメッセージを発信するものです。

これまでH I Vとエイズに対して様々な取組がなされてきました。

治療法の進歩によりH I V陽性者の予後が改善された結果、H I V陽性者は感染の早期把握、治療の早期開始・継続によりエイズの発症を防ぐことができ、H I Vに感染していない人と同等の生活を送ることが期待できるようになりました。また、近年では、H I V治療を受け、血液中のウイルス量が検査で検出できない程度に最低6ヶ月以上継続的に抑えられているH I V陽性者からは、性行為によってH I Vが感染することがないことも確認されています。このことは、Undetectable（検出限界値未満）＝Untransmittable（H I V感染しない）、略して「U=U」と呼ばれています。

つまり、治療の進歩でH I V陽性者の生活は大きく変わり、H I V感染の予防にも、その進歩に支えられた様々な選択肢が用意されるようになりました。しかし、現状はそうした変化が正確な情報として十分に伝わっているとは言えず、有効な治療法がなく死に至る病であった時代の認識にとどまっている場合が少なくありません。そのことがH I V感染を心配する人たちを検査や治療から遠ざけ、また、差別や偏見を招く要因の一つになっているとも言われています。

そこで、今年度の「世界エイズデー」キャンペーンテーマは、この「U=U」という言葉をより一層浸透させることで、もう一度H I Vとエイズのことを皆で考えてみましょうというメッセージが込められています。ひとりでも多くの人がH I Vとエイズのことを自分の事として捉え、H I Vとエイズに関する検査や治療、支援などの知識を身につける契機とし、最新の知識の普及を通じて、H I V検査の受検促進や差別・偏見の解消につなげていきたいと考えています。

3 留意点

キャンペーンテーマは上記趣旨を踏まえ、世界エイズデー関連イベントに限らず、啓発資材や講演・研修会の内容への盛り込み、名刺やメール署名への記載等、年間を通じ、啓発活動の場において広くご利用ください。

キャンペーンテーマの趣旨は、エイズ予防情報ネットにも掲示いたしますので、ウェブサイト等で啓発活動を展開する場合のリンク先として適宜ご活用ください。

(<https://api-net.jfap.or.jp/index.html>)